



実はこんな問題が...

1,500万人の生活を支える 「びわ湖」が抱える問題って？

びわ湖の水は、近畿に住む約1,500万人が飲み水として利用しています。冬には「**全層循環**」(＝びわ湖の深呼吸)が行われ、底の冷たい水が押し上げられることで湖全体の水が混ざり、酸素が均等にいきわたります。しかし、地球温暖化・気候変動により「全層循環」が起きにくい現状にあり、びわ湖の生き物たちの住む場所が失われつつあります。



解決に向けての取り組み



1,500万人の生活を支える 「びわ湖」が抱える問題って？

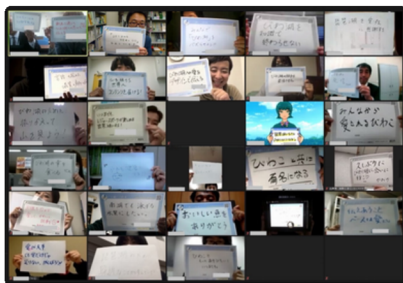
マザーレイクゴールズ、略して「**MLGs**」は、滋賀県版のSDGsで、びわ湖が抱える課題解決のための**13の目標**のこと。SDGsは地球全体の目標ですが、MLGsは、びわ湖のために滋賀県民をはじめ、多くの人々が愛するびわ湖のために全員で取り組んでいくもの。そしてその活動は、実はびわ湖のみならず、地球の問題を解決していることにもつながるんです。MLGsは、いわばSDGsを「自分ごと」として考え、行動しやすくするための第一歩をふみだしやすくするためのものとも言えます。



こんな未来を目指します！

「共通の目標」でつながって、 課題解決に向けて広がる協同の輪。

びわ湖が抱える課題を「**見える化**」することで、自分たちができること、やるべきことが見えてきます。また、MLGsのように「**共通の目標**」でつながることで、同じ想いの人が集まり、課題解決に向けて協力しあうこともできます。一人ひとりの小さな行動が、やがて大きな力に変わります！！



投資先からのメッセージ



変えよう、あなたと私から。 びわ湖は私たちの行動をうつす鏡。

びわ湖の環境は、そこに住む人々の環境意識や行動をそのまま映し出す鏡だといわれています。地球規模の環境問題の深刻さや、世界規模の問題に対して、自分の無力さを感じるかもしれません。しかし、まずは一歩ずつ、自分の生活を見つめなおし、自分が住む場所で出来ることから始めるしかありません。みなさんの住む地域でも、共通の目標を作ってみませんか？共に変わっていくことで、社会は変わると信じて。まずはあなたと私から。共に動き出しましょう！

知っておきたいキーワード



#びわ湖 #全層循環 #マザーレイクゴールズ #MLGs #見える化

6

「共通の目標」でつながって
豊かで美しいびわ湖を次世代へ

滋賀応援寄附
「美しい琵琶湖を守ろう」